

第1章 阪神・淡路大震災の主な被害の概要

第1節 地震の概要と特徴

1 地震の発生状況

平成7年1月17日、5時46分、兵庫県南部に震度6、場所によっては震度7の強い地震が発生し、その後、余震が断続的に発生したが、現在では回数も減少し、沈静化している。

この地域としては、昭和27年に記録した震度4をはるかに上回る大きなものであった。

震源地	淡路島北部	北緯34度36分	東経135度03分
震源地の深さ	14km		
各地の震度	6 神戸、洲本	5 豊岡	4 姫路など
	(神戸市、芦屋市、西宮市、北淡町、一宮町、津名町の一部では7)		
マグニチュード	7.2		

2 地震の特徴

- (1) 人口350万人余が密集し、わが国の経済活動の中枢を担う淡路北部から神戸市及び阪神地域の直下で発生した内陸・都市直下型地震であった。
- (2) 深さ14kmという比較的浅い部分で発生し、断層が横にずれることにより起こったもので、大きなエネルギーが一挙に解放されるタイプであった。このため、地震の継続時間が短い半面、振幅が最大18cmと観測史上最大になるという強い揺れを観測した。

第2節 被害の概要

1 被害の特徴

- (1) 大都市を直撃した地震のため、電気、水道、ガスなど被害が広範囲になるとともに、新幹線、高速道路、新交通システム、都市間交通・地下鉄が損壊し、生活必需基盤（ライフライン）に壊滅的な打撃を与えた。
- (2) 古い木造住宅の密集した地域において、地震による大規模な倒壊、火災が発生し、特に、神戸市兵庫区、長田区などでは大火災が多発した。
- (3) 戦後50年間、近畿には特に大きい地震が無く、各分野において緊急事態への備えが十分であったとは言えないなか、未曾有（みぞう）の大地震により災害の規模が広がった。神戸・阪神地域というわが国有数の人口密集地に発生したため、最大31万人を超える住民が避難所での生活を余儀なくされた。

2 被害の概要

- (1) 災害救助法指定市町数 10市10町
- }
神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、
宝塚市、三木市、川西市、津名町、淡路町、北淡町、一宮町、
五色町、東浦町、緑町、西淡町、三原町、南淡町
- (2) 指定市町面積 1,657.60km²
- (3) 指定市町人口 3,588,288名
- (4) 死者 6,279名
- (5) 負傷者 34,900名
- (6) 行方不明 2名
- (7) 焼失家屋 7,456棟
- (8) 倒壊家屋 192,706棟
- (9) 最大避難箇所数・人数（1月23日現在） 1,153カ所・316,678名
- (10) ライフラインの状況

区分	震災直後	復旧状況
水道	約127万戸が断水	2月28日復旧完了 4月17日全戸通水完了
下水道	被災管渠総延長 約 260km	4月20日復旧完了
工業用水道	251事業所への送水停止	4月10日復旧完了 平成7年度末復旧完了予定
電気	約100万戸停電	1月23日倒壊家屋を除き復旧完了
電話	普通回線数 交換機系 約28万5千回線 加入者系 約19万3千回線	1月18日復旧完了 1月31日復旧完了
ガス	約84万5千戸が供給停止	4月11日倒壊家屋を除き復旧完了

(11) 鉄道の状況

区分	震災直後（1月18日） 不通区間（km）	復旧状況
J R 新幹線 J R（東海道・山陽線） （福知山線） （和田岬線）	京都～姫路 (130.7) 尼崎～西明石 (48.2) 塚口～広野 (37.2) 全線 (2.7)	4月8日復旧完了 4月1日復旧完了 1月21日復旧完了 2月15日復旧完了
阪神（本線） （武庫川線）	甲子園～元町 (18.0) 全線 (1.7)	6月26日復旧完了 1月26日復旧完了
阪急（神戸線） （甲陽線） （伊丹線） （今津線）	西宮北口～三宮 (16.7) 全線 (2.2) 全線 (3.1) 全線 (9.3)	6月12日復旧完了 3月1日復旧完了 3月11日復旧完了 2月5日復旧完了
神鉄（有馬線） （三田線） （粟生線）	全線 (22.5) 全線 (12.0) 全線 (29.2)	6月22日復旧完了 1月19日復旧完了 1月19日復旧完了

区 分	震災直後(1月18日) 不通区間 (km)	復旧状況
山 陽	西代～明石 (15.7)	6月18日復旧完了
神戸市営地下鉄	板宿～新神戸 (8.8)	2月16日復旧完了
神戸新交通 (ポートライナー) (六甲ライナー)	全線 (6.4) 全線 (4.5)	7月31日復旧完了 8月23日復旧完了
神戸高速 (東西線) (南北線)	全線 (7.2) 全線 (0.4)	8月13日復旧完了 6月22日復旧完了

(12) 道路の状況

区 分	震災直後不通区間	現在不通区間	復旧状況
阪神高速道路 (神戸線)	全線 (京橋～摩耶) (若宮～京橋) (摩耶～深江)	月見山～武庫川	8年10月末復旧見込 (8年2月19日復旧完了) (8年8月末復旧見込) (8年8月末復旧見込)
(湾岸線) (北神戸線)	全線 全線	— —	9月1日復旧完了 2月25日復旧完了
名神高速道路 第二神明道路 中国自動車道	西宮～府県境 伊川谷～須磨 西宮北～府県境	— — —	7月29日復旧完了 2月25日復旧完了 7月21日復旧完了
国道43号 国道2号	西宮～岩屋 若宮～岩屋	— —	1月17日開通 1月17日開通

(13) 港湾の状況

公共岸壁	震災直後 着岸不能バース	8年2月8日現在 復旧バース (仮復旧を含む)	減少バース (埋立による)	復旧見込み
神戸港	186	71	16	2年以内
尼崎西宮芦屋港	10	9	0	2年以内

* 神戸港の着岸可能なバースが減ったのは、本格的な復旧工事に入り、着岸できなくなったため。

(14) 被害総額の状況

(4月5日現在)

項 目	金 額	概 要
1 建築物	約 5兆 8,000億円	倒壊・使用不能建物等 〔*注：建築着工統計の建築単価から推計〕
2 鉄 道	約 3,439億円	JR西日本・阪急電鉄・阪神電鉄・神戸電鉄・山陽電鉄等
3 高速道路	約 5,500億円	阪神高速道路・中国自動車道・名神高速道路等
4 公共土木施設 (高速道路を除く)	約 2,961億円	道路 約 1,181億円、河川 約 369億円、 海岸 約 4億円、砂防 約 7億円、 下水道 約 698億円、街路 約 36億円、 公園 約 140億円、国直轄事業 約 526億円

項 目	金 額	概 要
5 港 湾	約 1 兆 円	神戸港、尼崎西宮芦屋等公共施設 約 7,600億円 民間施設 約 2,400億円
6 埋め立て地	約 64億円	佐野・志筑地区 約 7 億円、 西宮・甲子園地区 約 17 億円、 南芦屋浜・芦屋浜地区 約 40 億円
7 文 教 施 設	約 3,352億円	県立学校 約 141億円、市町立学校 約 1,705億円、 私立学校 約 340億円、国公立大学 約 91億円、 県立大学 約 3 億円、私立大学 約 379億円、 社会教育施設 約 362億円、体育施設等 約 139億円 文化財 約 99億円、文化施設（ホール等） 約 93億円
8 農林水産関係	約 1,181億円	農地・ため池等 約 244億円、治山施設 約 82億円 漁港 約 199億円、農業生産施設等 約 105億円 水産業施設 約 48億円、林産施設 約 17億円、 卸売市場 約 245億円、食品関係施設等 約 241億円
9 保健医療・ 福祉関係施設	約 1,733億円	病院 約 666億円、診療所 約 274億円、 試験研究機関 約 9 億円、看護学校 約 19億円、 火葬場 約 11億円、保健センター等 約 28億円、 福祉関係施設 約 404億円、 生活協同組合施設 約 322億円（医療除く）
10 廃棄物処理・ し尿処理施設	約 44億円	
11 水 道 施 設	約 541億円	上水道 約 493億円、工業用水道 約 48 億円
12 ガス・電気	約 4,200億円	ガス 約 1,900億円、電気 約 2,300億円
13 通信・放送施設	約 1,202億円	電気通信施設 約 984億円（うちNTT約 800億円） 放送施設 約 35億円、ケーブルテレビ 約 175億円 兵庫衛星通信 約 8 億円
14 商 工 関 係	約 6,300億円	機械・装置等設備 約 6,300億円 （建築物 1 兆 7,700億円を除く）
15 その他の 公共施設等	約 751億円	県庁舎等 約 136億円、市町村庁舎等 約 515億円、 警察庁舎等 約 100億円
計	約 9 兆 9,268億円	